

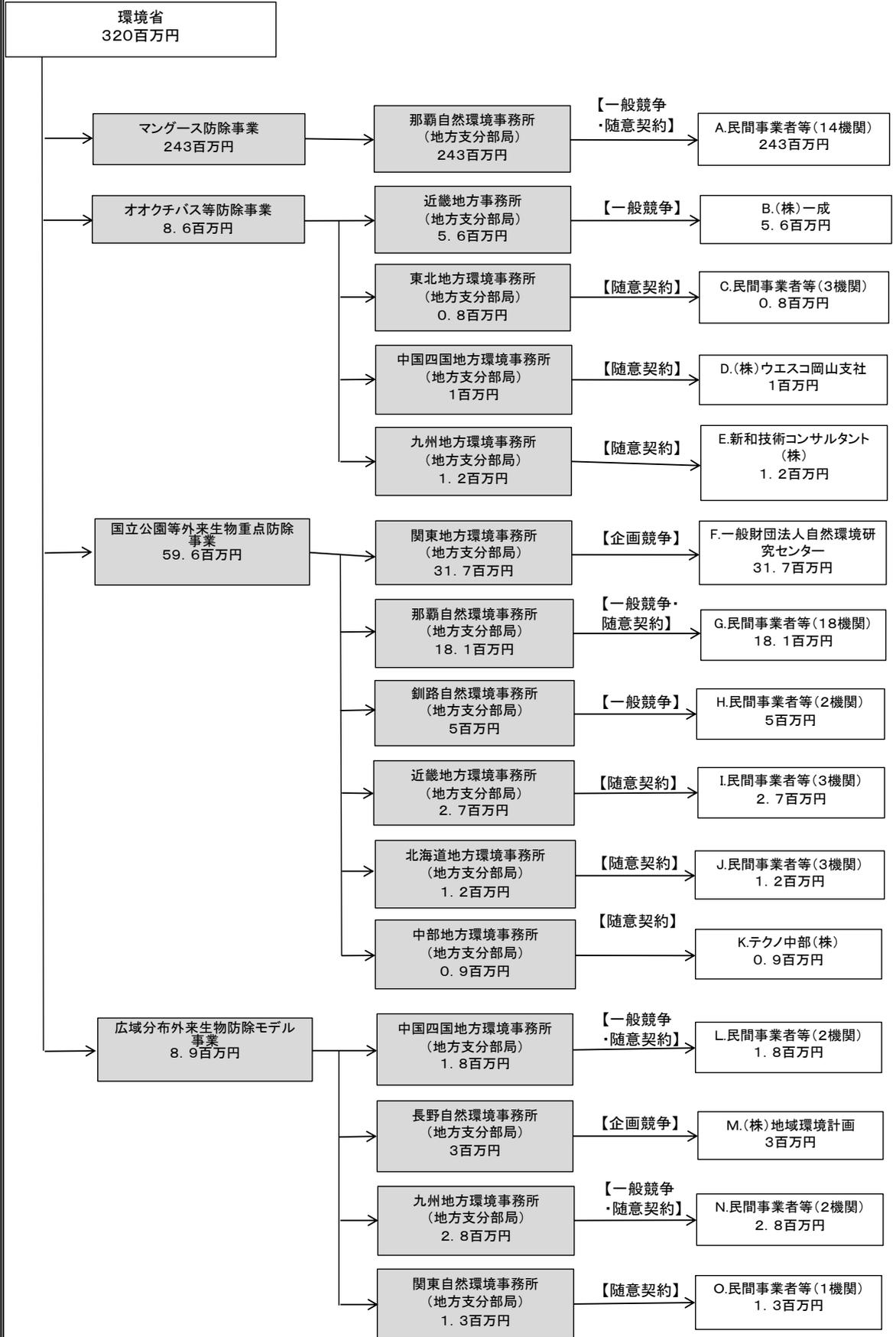
平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	特定外来生物防除等推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	室長 関根 達郎	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	外来生物対策室		室長 関根 達郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 第11条		関係する計画、 通知等	生物多様性国家戦略2012-2020(H24.9.28閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定外来生物を防除することにより、生態系等への被害を防止する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生態系等への被害を防止するため、希少種の生息地や国立公園など、我が国の生物多様性保全上特に重要な地域において特定外来生物の防除を行う。 また、全国的に分布、定着し、広域で被害を発生させている特定外来生物について、各地の地方公共団体、民間団体及び地域住民が連携して効果的に防除を行えるよう、防除モデル事業により実施体制や防除技術の検討を行い、特定外来生物の防除が円滑に推進されるよう支援を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	349	372	325	419	420	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	349	372	325	419	420	
	執行額		340	366	320			
執行率 (%)		97%	98%	98%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、特定外来生物の根絶・低密度化、防除の体制や手法の確立を目標として、各地で防除を実施しているものであり、これらを全体的に評価する指標が存在しないため、全体についての定量的な成果目標・成果実績を示すことはできない。 ただし、マングースやグリーンアノール等については、低密度化等の効果を確認している。			成果実績	—	—	—	—
				達成度	%	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業費による、防除事業の実施箇所数			活動実績 (当初見込み) 力所	17 (17)	23 (19)	23 (23)	— (23)
単位当たり コスト	1カ所あたりの防除事業費用平均値 14(百万円/1カ所)			算出根拠	本事業費(320百万円)/実施箇所数(23)=14百万円/1カ所			
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	419	420					
	計	419	420					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	特定外来生物は生態系、人の生命身体、農林水産業など国民の生活に関わる分野に大きな被害をもたらしている。現状を放置すると、被害がますます拡大すると予測されることから、早期に防除を行う必要があり、早期に対応することは費用面でも有利である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、希少種の生息地や国立公園などの国として保護を行う必要がある地域を対象として防除を実施している。小笠原については、世界自然遺産登録にあたりユネスコ世界遺産委員会より侵略的外来種対策の継続が要請されている。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	また、広範囲に分布、定着している特定外来生物については、地方公共団体や民間による地方の取組を支援するため、モデル事業を実施している。これは、特定外来生物被害防止基本方針に示された国と地方の役割分担に基づくものである。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	百万円以上の契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。経費は、防除に当たっての事前調査や計画策定、実際の防除における人件費、防除に用いるわな等の購入費など防除事業を実施するために不可欠な用途に充てられている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	防除の手法は、過年度の事業成果をフィードバックすることにより、効果的な実施の確保に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	また、モデル事業による経験は取りまとめてマニュアル化し、他の事業の参考となるよう公開している。		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	希少種の生息地や国立公園など、我が国の生物多様性保全上重要な地域を対象として特定外来生物の防除を実施しているが、防除により生息密度が低減しても、いったん捕獲圧を下げてしまえば個体数が回復してしまうことから、事業の継続的かつ効果的な実施が必要である。					
	今後、特に防除により低密度化した段階での効率的な防除手法を積極的に導入して、事業の一層の効率化を図る。広域的な分布拡大を阻止するための取組や各地で取り組まれている防除の情報の共有は、地域での取組を促進するため、国がさらに主導的に実施する必要がある。					
平成25年度は外来生物法の改正を行い、特定外来生物とその他の種の交雑種が外来生物法の対象となることから、今後、特定外来生物に指定された交雑種の対策を新たに実施する必要がある。						
また、平成25年度に2020年までの国の外来種対策の方針を示した、外来種被害防止行動計画を策定する予定である。行動計画には外来種対策の優先度の考え方や、優先度の考え方に基づいた国が実施する防除事業の選定、各事業の目標を記載する予定であるため、平成26年度以降は、それらの結果を踏まえ、より効果的な事業の展開を図る。						
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の改正に伴い業務増が見込まれるが、蓄積したノウハウを活かし、必要最小限の概算要求とすること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	早急に対処が必要なオオバナミズキンバイ等への対策、法改正による規制強化に伴うアカゲザル交雑種等への対策など、業務の増加が見込まれるが、精査の上、一部予算を重点化し、必要最小限の要求額とした。					
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、平成24年度環境省行政事業レビュー公開プロセスの対象事業となっている。 ・レビューシート番号: 206 ・事業名: 特定外来生物防除推進事業 ・公開プロセスの結果: 抜本的改善 ・公開プロセスのとりまとめのコメント: マングースだけは、具体的目標がある。その他は、どこまで防除すれば目標・事業目的を達成できるか不明瞭。国費を投入するわけだから国民への説明責任を果たせるように防除、方法を工夫するなど予算縮減の努力をすべき。その仕組みが出来た部分は、他の外来生物対策に振り向けメリハリを付けるべき。 						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	315	平成23年	198	平成24年	206

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.一般財団法人自然環境研究センター			E.新和技術コンサルタント(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	延べ115人日	4	雑役務費	蘭牟田池オオクチバス等防除普及事業及び過去の事業のとりまとめ	1.2
諸謝金	検討委員会謝金等11人回	0.4			
旅費	検討委員、職員等出張旅費	3			
借料及び損料	作業車両リース代	8			
消耗品費	レインウェア、作業服等	3			
賃金	現地作業員(42人)	105			
一般管理費		10			
その他		0.6			
計		134	計		1.2
B.(株)一成			F.一般財団法人自然環境研究センター		
費目	使途	金額 (円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費延べ120人日	3.2	人件費	延べ474人日	13.8
諸謝金	延べ2名分	0.03	諸謝金	講演謝金、写真利用謝金	1
旅費	車両費、燃料費、有料道路利用料	0.1	旅費	職員出張旅費	1.4
印刷製本費	防除手引き(普及版):5000部(改定版):50部 報告書10部	0.5	借料及び損料	レンタカー、備船費	0.5
消耗品費	漁具制作資材等	0.3	賃金	延べ560人日	5.9
一般管理費		1.2	消耗品費	捕獲ワナ等機材	3.2
消費税	※数切捨て及び自社負担	-0.02	印刷製本費	パンフレット、報告書	0.6
計		5.6	雑役務費	パンフレット、標本作成費	0.9
			一般管理費		2.9
			消費税		1.5
			計		31.7
C.(株)DSG			G.一般社団法人沖縄しまたて協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
			人件費	延べ74人日	2
			諸謝金	会議謝金	0.1
			旅費	職員、アルバイト旅費	0.3
			賃金	アルバイト	3.1
			消耗品費		0.4
			印刷製本費		0.1
			一般管理費		1
計			計		7
D.(株)ウエスコ 岡山支社			H.公益財団法人日本鳥類保護連盟		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
			雑役務費	アライグマの捕獲調査	3.5
計			計		3.5

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

I.(株)環境総合テクノス			M.(株)地域環境計画		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
			雑役務費	アライグマ生息状況調査業務(啓発活動等)	3
計			計		3
J.(株)北開水エココンサルタント			N.(株)地域環境計画		
費目	用途	金額 (円)	費目	用途	金額 (百万円)
			人件費		1
			旅費	宿泊費・車両使用料・ガソリン代・交通費	0.3
			印刷製本費	報告書印刷	0.03
			会場費	連絡会議会場	0.01
			資材費	講習会、アンケート等資材	0.01
			一般管理費		0.4
			技術経費		0.1
			消費税及び地方消費税		0.09
					0.2
計			計		2.1
K.テクノ中部(株)			O.一般財団法人自然環境研究センター		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
			業務費	人件費、調査経費等	1.26
			消費税等		0.06
計			計		1.32
L.一般財団法人自然環境研究センター					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	人件費、調査経費等	1			
消費税等		0.05			
計		1	計		

支出先上位10者リスト

A.那覇自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	平成24年度奄美大島におけるジャワマングース防除事業業務	134	随意契約	-
2	(株)南西環境研究所	平成24年度沖縄島北部地域ジャワマングース等防除事業業務	74	1	92.3
3	岩崎産業(株)	平成24年度奄美大島におけるジャワマングース防除事業特定地域捕獲作業等業務	25	随意契約	-
4	(有)キャブテンリゾート	平成24年度筒式イタチ捕獲器(特注改良型)1400個の納入業務	4	2	96.6
5	(有)麻里府商事	平成24年度センサーカメラ式の購入	1	随意契約	-
6	三和システムサービス(株)	平成24年度マングース防除事業用携帯型無線機納入業務	1	少額随契	-
7	(株)南西環境研究所	平成24年度「平成23年度沖縄島北部地域におけるジャワマングース防除事業報告書」作成業務	1	少額随契	-
8	一般財団法人自然環境研究センター	平成24年度「平成23年度奄美大島におけるジャワマングース防除事業報告書」作成業務	1	少額随契	-
9	(株)宮眞商事	塩ビVUパイプ(15本)・塩ビVU継手DT(2000個)他	0.5	少額随契	-
10	(株)丸親	VUUDT(チーズ)65 90° Y(3000個)	0.5	少額随契	-

B.近畿地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)一成	平成24年度琵琶湖内湖におけるオオクチバス等防除推進業務	5.6	2	94.5

C.東北地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)DSG	パンフレットの増刷	0.5	少額随契	-
2	(財)宮城伊豆沼・内沼環境保全財団	オオクチバス等の防除事業の成果のとりまとめ等	0.3	少額随契	-
3	(有)永澤理化学機器店	消耗品購入	0.01	少額随契	-

D.中国四国地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ウエスコ 岡山支社	流水域におけるオオクチバスの防除モデル事業	0.99	少額随契	-

E.九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新和技術コンサルタント(株)	蘭牟田池オオクチバス等防除普及事業	1	少額随契	-
	新和技術コンサルタント(株)	過去の事業のとりまとめ	0.2	少額随契	-

F.関東地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	平成24年度小笠原国立公園特定外来生物(グリーンアノール等)重点防除業務	31.7	1	99.5

G.那覇自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人沖縄しまたて協会	平成24年度沖縄島におけるグリーンアノール防除手法検討業務	5	11	98.2
	一般社団法人沖縄しまたて協会	平成24年度沖縄県浦添市におけるオオヒキガエル対策業務	2	13	66.3
2	八千代エンジニアリング(株)沖縄事務所	平成24年度石垣島におけるオオヒキガエル防除事業業務	3	5(不落随契)	-
3	財団法人沖縄県公衆衛生協会	平成24年度沖縄島におけるタイフンスジオ買い上げによる分布調査業務	2.5	10	96.6
4	(株)一成	平成24年度奄美・琉球地域の外来種レビュー業務	2	3	65.2
5	(株)ニュージック	平成24年度沖縄県八重山地域におけるオオヒキガエル等外来生物防除事業(西表島地域)業務	1.8	5	83.6
6	(株)シー・アイ・シー	平成24年度グリーンアノール捕獲トラップ納入業務	0.96	少額随契	-
7	(有)ザمام	防水両面テープ50mm×10m(300個)	0.4	少額随契	-
8	(株)アズマ・コーポレーション	アズママットスーパー180タイプ(12枚)	0.2	少額随契	-
9	(株)エル・エム・エス 沖縄営業所	上皿天秤TX2202N	0.05	少額随契	-
10	(株)木田商会	ファミリーシート6枚・農業用フォーク3本・防風ネット30枚	0.02	少額随契	-

H.釧路自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人日本鳥類保護連盟	アライグマの捕獲調査	3.5	2	99.8
2	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワークPEG	釧路湿原国立公園オオハンゴンソウ防除実証等業務	1.5	3	87.8

I.近畿地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	平成24年度アベサンショウウオ生息地におけるアライグマ侵入状況調査業務	0.9	少額随契	-
2	アベサンショウウオを守る会	平成24年度アベサンショウウオ生息地保護区におけるアライグマ防除業務	0.9	少額随契	-
3	(株)スピリコ	平成24年度特定外来生物駆除等業務	0.9	少額随契	-

J.北海道地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)北開水エコンサルタント	大雪山セイヨウオオマルハナバチ対策業務	0.7	少額随契	-
2	中西印刷(株)	ウチダザリガニ普及啓発リーフレット作成業務	0.3	少額随契	-
3	北海道印刷企画(株)	セイヨウオオマルハナバチ飼育カード	0.2	少額随契	-

K.中部地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	テクノ中部(株)	緊急的な現状把握調査(愛知県干潟等沿岸部外来種侵入状況調査)	0.9	少額随契	-

L.中国四国地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	中国地方におけるアライグマ防除の予備調査	1	7	36.1
2	復建調査設計(株)岡山支社	岡山市におけるアルゼンチンアリ早期対策のための分布域の把握(緊急)	0.8	少額随契	-

M.長野自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	アライグマ生息状況調査業務(啓発活動等)	3	2	99.5

N.九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	九州地方アライグマ防除啓発事業	1.9	3	70.49
	(株)地域環境計画	過去の事業のとりまとめ	0.2	少額随契	-
2	(株)城野印刷所	チラシ「オオキンケイギク」等の印刷	0.4	少額随契	-
	(株)城野印刷所	チラシ「アライグマ」等の印刷	0.1	少額随契	-
	(株)城野印刷所	チラシ「セアカゴケグモ・ハイロゴケグモ」の印刷	0.1	少額随契	-
	(株)城野印刷所	チラシ(ソウシチョウ)の印刷	0.1	少額随契	-

O.関東地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人自然環境研究センター	平成24年度東京都立城南島海浜公園内アルゼンチンアリ生息状況調査業務	0.98	少額随契	-
	一般財団法人自然環境研究センター	東京都大田区内アルゼンチンアリ防除業務	0.34	少額随契	-